

消防団 ネットin川口

令和2年11月25日

第62号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 吉田 幸市

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

消防団長からのお言葉

川口市消防団長 吉田 幸市

消防団員の皆様におかれましては、日頃より地域の安全・安心を守るため防災の最前線に立ち、日々ご尽力されている事に心から敬意を表し感謝申し上げます。

令和2年度には、新入団員15名の多くの入団者があり、新しい幹部4名での新たな体制でのスタートとなりました。また、広報推進委員会は改選の年であり、新たな11名の委員の方により、初めてコロナ禍の中で、第62号を発行して頂きました。これからも、消防団活性化のため魅力ある消防団づくりの広報活動にご尽力を頂きたいと思います。

さて、令和2年は年始から新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、多くの方が集まるイベントや行事等において中止や延期、また、不要不急の外出自粛、学校の休校や休業要請など様々な制限がありました。

本市消防団においても、消防団員機関員技能研修等など日々の訓練が中止となり、団員の皆様は活動に不安を感じていたものと思います。特に、消防団特別点検は、消防団員にとって日々の訓練成果を発表する一大イベントであることから団本部でも新たな生活様式での開催に向けた検討を重ねて参りましたが、埼玉県内では多くの消防団が中止という状況で、第1ブロック内は、すべて中止という事になりました。

本市消防団としても、今年度は全団員の安全確保、感染拡大を考えると中止という決断にせざる得ない状況でした。消防団員は、市民の安全・安心を守るため、各種災害に対応できるよう消防活動体制の充実強化、社会情勢等の変化に対応した活動を行っていく事が重要であります。

消防団員の皆様におかれましては、団員一丸となり新型コロナウイルス感染症防止対策を進めていく必要があります。また、健康管理に努め、安心して生活できるよう災害活動にご協力して頂きたいと思います。

最後に、1日でも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、全ての事業が新たな生活様式の基で実施できる事に加え、伝統ある川口市消防団の更なる発展と全消防団員の皆様の御健康と御多幸を祈念申し上げます。



副団長就任挨拶

副団長 藤波 幸夫



本年4月1日付で団本部副団長の職に就かせて頂きました、元第7支団長の藤波と申します。私が消防団の職に就いて早37年になります。私の父も消防団員を務めており、その後、私も消防団に後継者として入団しました。私が入団し3年目にポンプ操法大会の選手となり、その後も20年以上2番員4番員を務めました。こうして30年が経ち、平成30年に第7支団がポンプ操法大会に出場したことと、今度は支団長として2回目の県大会も経験しました。私はその経験を活かし、川口消防団各支団の意見、連携に気配りし、副団長の職に取り組んで参りたいと思います。

そして、いつどこで起きても不思議でない自然災害や火災を消防局、市防災課、消防団員連携で一層強固なものとし、災害を最小限に止めるために市民と消防関係が協力し合う町を目指し、各支団の皆様と共に精進していきたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

支団長就任挨拶

第6支団 支団長 飯塚 秀行



この度、第6支団長に就任いたしました飯塚秀行です。61歳、妻、子ども2人です。団歴は34年になります。趣味はゴルフ、小型船舶二級免許証を持ってはいるのですが…。火災の原因の一つである煙草は20年前に止めることができました。

第6支団は川口市の南東部に位置している新郷地区です。この地区は区画整理事業も半ばでまだまだ狭く道路が残っています。

諸先輩方がよく言われていたことですが、平時の時でも鍛錬を怠らず、いざ有事の際には団員全員が出動し活躍できるように日頃から体調管理には十分に気を付け日々を送り、地域に住む方々の生命と財産を少しでも守れるように努力するように。このような諸先輩方の教を後輩たちに伝えたいと思っています。

最後に皆様方のお力をお借りしながら頑張ってやっていきますので、宜しくお願い致します。

第7支団 支団長 矢作 安三



この度、令和2年4月1日より第7支団支団長に就任しました矢作安三です。伝統ある7支団の誇りを胸に地域の防災に団員皆様と活動してまいります。

ところが就任する前に新型コロナウイルスの影響で支団長会議が開催されたのが10月、消防団最大の行事、特別点検まで中止になってしまいました。団員の皆様には多人数での会合が出来なくなりコミュニケーションがとれなくなりましたが、コロナ禍において感染しないのが最も重要です。

一人、一人の行動に気を付けて乗り切りましょう。

最後に、川口市消防団の発展と団員皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。

第10支団 支団長 村山 明透



この度、前任の支団長鈴木章様の定年退任に伴い、第10支団長の辞令を頂戴いたしました。川口市南消防署鳩ヶ谷分署、第10支団とワンチームで地域の安心安全に取り組んでいく所存です。今後とも、みなさまのご指導ご鞭撻を頂き、百折不撓の川口市消防団の一員として邁進してまいります。よろしくお願い致します。

第41回 九都県市合同防災訓練 令和2年度埼玉県・川口市防災訓練

「九都県市合同防災訓練に参加して」

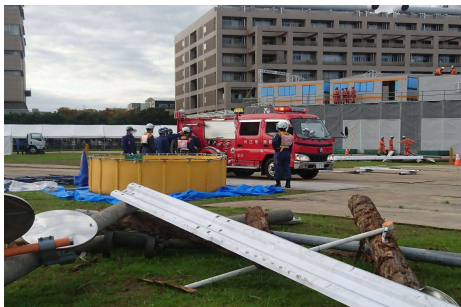
第3支団第2分団 副分団長 松浦 洋之

第41回九都県市合同防災訓練に地元消防団員として参加いたしました。今回、私達第2分団が担当したのは放水訓練でした。私達分団では普段より月1回自主訓練として放水訓練は行っており、普段通りの事を普段通りに行うだけでしたが、総理大臣をはじめとする政府要人、マスコミの前で実施する事はいつもと違う緊張感があり、サイレンを鳴らし移動する車内は何とも言えない雰囲気でした。

そんな私達に勇気を与えてくれたのが消防団の本部テントの中にいた団長、支団長、他団員の皆さんでした。仲間の拍手、声援に後押しされて無事にしっかりと訓練を終える事が出来ました。

今回私が感じた事は日々の訓練の大切さ、仲間の有難さです。これからも仲間を大切に訓練に励み地域のリーダーとなるべく精進してまいります。

結びに、今回の訓練に際し、準備をしていただいた関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。



「合同防災訓練に参加して」

第7支団第4分団 班長 森 信二

合同防災訓練に参加しました。トンネル内の多重衝突事故の想定で、トンネル内の乗用車の中で救助を待つ役者を演じました。想定訓練が始まり救助隊員が救助にくるまでの間、救助隊員たちはトンネル内の環境管理と危険物・可燃性ガスの確認し安全確保を行った後、隊員が救助に来ました。救助され車を降りる際、隊員が運んだ救助器具の物々しい感じが訓練でありながら規模の大きさを感じました。

分団設備紹介

「待機所完成！！」

第10支団第1分団 分団長 小須田 清志

令和2年4月、第10支団第1分団の待機所が分団車庫の隣(桜町5丁目)に完成し鍵の引き渡しを受けました。今まで団車庫には水道、トイレが無かったため、大変不便な思いをしていました。念願は叶い団員の士気が益々高まっています。現在はコロナ禍で団員が集まる事を控えておりますが、今後有効に活用していく所存です。このような立派な待機所建設に御尽力頂いた関係者の皆様にこの場をお借りして心より感謝と御礼を申し上げます。



「新車庫完成」

第 11 支団 支団長 勅使河原 利明

この度、令和 2 年 3 月 16 日、第 11 支団第 2 分団車庫落成に一言御礼の言葉を述べさせていただきます。川口市長をはじめ市議会議員・市議会議員・地元自治会長・地権者・OB 会会長・消防団本部・消防署職員の皆様には、多大なるご配慮をいただき誠に有難うございます。

落成式の日に合わせて駐車場の確保をして準備万端だったところに『新型コロナウイルス』感染拡大のため車庫落成式は中止となりましたが、当日団本部の皆さんが見に来て頂きました。団員達も長い間、休憩所・トイレ無しが続きましたが、新車庫完成で長年の夢(願い)が叶い喜んでいる次第です。

最後に川口市消防団の発展と団員の皆様のご健勝ご多幸をお祈りし、また今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



支団訓練近況

「新入団員基礎教育(現地研修)と放水訓練」

第 10 支団第 1 分団 班長 花岡 巖

去る 9 月 27 日、鳩ヶ谷分署に於いて第 10 支団第 3 分団と第 11 支団第 1 分団で今年度入団した団員に向けて消防基礎教育(現地研修)が実施されました。同時に第 11 支団第 1 分団は放水訓練を行いました。気持ち良い秋空の下、参集した団員は消防署職員から指導を受け、汗を流しました。当日の基礎教育はロープ結索、ホース巻き、チェーンソー、筒先の扱いと多岐にわたり、様々な災害に対応出来る消防団員を育成する内容でした。

なお、新入団員基礎教育(現地研修)は別の日程で礼式、救命講習が行われます。余談ですが、鳩ヶ谷分署は庁舎建て替えが決定し、この訓練場所も今後は使用できなくなるようです。ここは水はけが悪く砂利の地面は足を取られ、決して良い環境とはいえませんが、鳩ヶ谷地域の消防団員にとっては訓練の思い出が詰まった場所です。限られた期間、鳩ヶ谷分署での消防団活動を記憶に焼き付けたいと思いました。



「特別点検が中止になった!!」

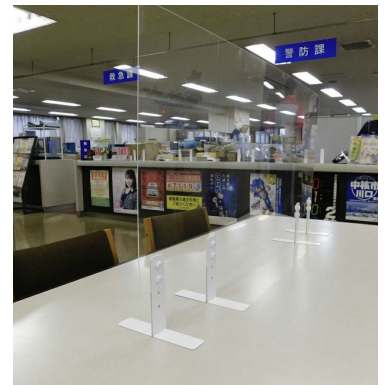
第4支団第1分団 団員 田村 真一

令和2年度、川口市消防団特別点検が中止となってしまいました。訓練日など決めていただけない特別点検ができなくて、全員が悔しくて仕方ないと思います。特に操法で活躍しなかった方の気持ちお察しします。

全国で会合やイベントが中止になっていますが、今回の特別点検の中止は新型コロナウイルスの感染拡大が問題となっています。コロナウイルス自体はいわゆる「風邪」の原因となるものです。詳しくは国立感染症研究所のホームページをご覧くださいですが、特効薬が無いのが問題です。感染防止をする為の行動が川口市の情報誌に載っていましたのでご紹介します。

①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い・うがい、④会話は正面を避ける、⑤屋内より屋外⑥体調管理を厳重に。です。

市民の生命、財産を守る消防団員が感染してしまったら、活動ができず面目ない事態になってしまいますから、今一度、感染しない、させない行動を率先して行いましょう。消防局では感染を防止するために、出入り口での検温や机には飛沫防止の透明なパネルが設置されています。



市内防災設備

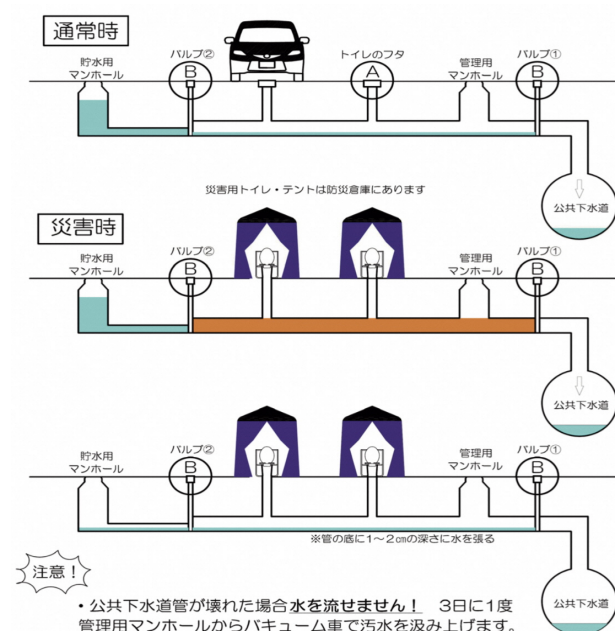
「マンホールトイレの設置について」

第2支団第1分団 部長 小川 由起

マンホールトイレとは、下水本管利用型災害用仮設トイレのことです。学校や公園等の避難場所にあり、災害時にマンホールの上に仮設トイレを組み立て設置して使用、直接下水道に流すことができます。第2支団管轄内の小学校にまた新たに8機設置されました。平成19年から始まった市内のこの設備ですが、令和2年11月現在で市内44箇所・372機設置されています。

大規模災害が起きた時に食料やトイレ、衛生面での問題も生じるため、昨今、個人でも様々な防災グッズを用意されている方が多くいると思います。しかし、近くこういった設備を知ることは、更に安心感が生まれると思うので、近くの何処に設備があるか確認することも重要だと感じます。

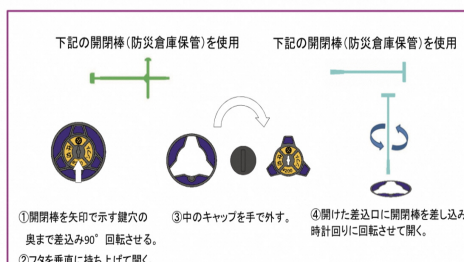
今回、この記事を取り上げる上で防災課、水道局の協力のもと許可をいただきました。



A.トイレのフタの開け方



B.バルブの開け方



トイレの設置

- 手順1：災害用トイレを設置する箇所のフタを開ける。
- 手順2：開けた穴に合わせて組立てた災害用トイレを設置する。

汚水を流す

- 手順1：バルブ①を開ける。
(汚水が公共下水道へ流れます)
- 手順2：汚水が流れたことを確認したら、バルブ①を閉める。
- 手順3：バルブ②を開ける。
(汚水が溜まる管の底に水を入れます)
- 手順4：管の底に1〜2cm程度の深さに水を張ったらバルブ②を閉める
- ※発災から3日間は流さずに、3日分の汚水が溜まってから流してください
- ※つまり流れていない場合は管理用マンホールからバキューム車で汚水を汲み上げてください

新入団員紹介

第1支団第2分団 団員 畠山 一夫(はたけやま かずお)



私は今年7月に入団しました畠山一夫と申します。出身はこれから寒さの厳しくなる北海道の十勝です。縁あって川口に住んで早30年以上になりました。入団の動機は長年、現役営業マンとして会社に勤めてきましたが、引退後はお金のためでなく、今までお世話になった地域に何か貢献できることに従事したいと考えてきました。たまたま支団長の知己を得る事ができ、是非入団したいと無理なお願いをしました。活躍できる期間はあまり長くありませんが頑張ります。気力と体力は学生時代に船で鍛えられたので自信があります。どうぞ宜しくお願いします。

第10支団第1分団 団員 近藤 春夫(こんどう はるお)

新人と言うのが憚れる年齢ですが、心機一転、けがの無いよう活動していきたいと思います。所属する10-1分団車庫・待機所(川口市桜町)の斜め前で和菓子店「中ばし」を営んでおります。神輿が趣味で浦寺神輿会に所属しています。どこかでお会いしたらお声がけください。



第10支団第1分団 団員 笠原 洋之(かさはら ひろゆき)



消防団に所属する商店街の方から入団のお誘いを頂き「自分達のまちを自分達で守る」という消防団活動の志に感銘を受け入団を決めました。救命活動のスキルを身に付け、少しでも地域貢献出来るよう頑張っていきたいと思います。

生まれも育ちも地元鳩ヶ谷、郵便局に勤務しております。

第10支団第1分団 団員 小林 康貴(こばやし やすたか)

所属する神輿会で消防団に入団した方からのお誘いを受け、微力ながらも地域のお手伝い出来るのではないかと思います、入団を決意しました。ラグビーで鍛えたフットワークと体力で貢献出来たら幸いです。今後ともご指導頂けますようお願い致します。



第10支団2分団 団員 大川 敦史(おおかわ あつし)



川口市で生まれ(若いころ少しだけ千葉の海辺ですごしましたが)、鳩ヶ谷に勤務して20年余り。自分の事ばかり考えて生きてきました。人生も半ばに差し掛かり、心を入れ替えて人のためになる事をしようと思案していたところ、ご紹介を頂き入団させて頂く運びとなりました。やるからには出来る範囲でキッチリやりたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

第10支団第2分団 団員 緑川 直人(みどりかわ なおと)

この度、縁がございまして入団致しました。普段は保険の営業をしています。仕事柄、災害時などにはたくさんの困っている人をみてきました。そんな中で少しでも地域のお役に立てればと思い入団させて頂きました。まだ右も左も分からない状況ではございますが一日も早く地域の役に立てるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



第10支団3分団 団員 船津 由穂(ふなつ よしのり)

入団にあたり、近年は大型台風をはじめ、突発的なゲリラ豪雨などによる風水害や土砂災害など、また、いつ起こってもおかしくない南海トラフ地震や首都直下型地震など、常に天災と隣り合わせの状況です。地域防災の一翼を担う川口市消防団の一員として、防災に関して高い意識を常に持ち、日々研鑽を怠らず消防団活動をして参る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



新広報委員スタート

任期が2期2年間の各支団より選抜された11名の広報委員会が今期スタートとなりました。11名中2名が再任ですが6名が今まで広報委員を経験している方たちです。更に多岐にわたる内容が期待されるかと思えます。既に2回の会議を経ています。「この記事を出して欲しい!」と積極的にお声掛け頂いています。団員の皆様におかれましても様々な情報がございましたら、各支団の広報委員までお声掛け下さいますようお願いいたします



広報委員挨拶

第1支団 班長 石田 咲

消防団に入団して早18年…広報委員となりましたが皆さんの足を引っ張らないよう頑張っております。どうぞ宜しくお願い致します。

第2支団 部長 小川 由起(委員長)

前々期中より広報に携わっております。今までは記事の作成や依頼でしたが、今期から実際に編集作業もするので入団18年目にして新たな新鮮な気持ちです。団員・市民のみならず、他県民にも読まれるこの広報で川口市消防団の様々な内容を周知していけたらと思っております。

第3支団 班長 飛田 明(副委員長)

今回3支団の広報委員となって2回目となります。コロナ禍の中で活動も自粛を余儀なくされ、記事も少ない状況ですが広報委員の皆様と力を合わせて、団員の皆様に楽しみに頂ける団ネットを作っていきたいと思えます。何か記事になることがありましたら宜しくお願い致します。

第4支団 団員 田村 真一

今年度、広報委員を拝命いたしました。リアルタイムな記事を掲載できるよう務めてまいります。6年前に一度やった時は特集記事を書きましたので、今回もがんばりたいと思います。

第5支団 団員 江崎 克徳

転勤族だったので第2の地元でありながら、地域のことが分からずじまいではまずいと一念発起。還暦の年に入団し、実働は最長でも10年間ですので、色々なことに挑戦しようということで広報委員になることにいたしました。微力ながら新人の発掘にも貢献できればと思っています。

第6支団 団員 石塚 隆一

この度、広報委員に任命されました。現在36歳で妻と子供3人の5人家族です。団員歴は6年になります。広報委員をやるのは初めてなので、諸先輩方また皆様にご指導いただきながら、広報が今まで以上に良くなるよう頑張っていきたいです。

第7支団 班長 森 信二

団ネットは所属支団以外の活動を知る媒体として有益な情報を掲載されているので、私も消防団の活動を広く取材し、団員をはじめとして多くの方にお伝えできるよう、任期2年間頑張っていきたいと思います。

第8支団 団員 中田 淳夫

仕事は安行地区で植木産業をしております。時勢から消防団活動自体が難しくありますが、現状をそのままお伝えし、団ネットの発行が滞らぬよう2年間頑張ります。

第9支団 団員 新井 貴之

今回、広報を担当させていただくことになりました、第9支団第2分団の新井です。地元で地域貢献できればと消防団に入団して、防災活動の他、AED指導員の資格も取らせていただきました。今後も地元の為に頑張っていきたいと思っています。

第10支団 班長 花岡 巖

活動、行事の自粛が相次ぐ現在、団ネットを介した広報活動への期待と注目はかつてなく大きい(と思う)。筒先をペン先に差し替え、小川委員長のもと任務を全うします。

第11支団 班長 加藤 知泰(副委員長)

消防団に入団してから15年ほどになります。その間、鳩ヶ谷市と川口市の合併などがありました。合併に伴い消防団の火災出動が減っている気もしますが、火災がないのは良い事です。有事に備え消防団員がもっと必要なのは明白です。広報副委員長として、そのあたりをアピールしていけたらと思います。



編集後記



今年度初の広報作成にあたり、多くの方からのご協力をいただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。既にストックもある有り難い状態です。皆さんあつての広報ですので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

広報委員長 小川 由起